

## 第134回 教育研究評議会要録

日時 平成27年12月16日(水)午後1時00分～午後3時10分  
場所 第一会議室  
出席者 今岡学長, 井上理事, 小路田理事, 角田理事, 笠井理事,  
柳澤文学部長, 林井理学部長, 三木生活環境学部長, 中島人間文化研究科長,  
内田, 野村, 小林, 春本, 黒子, 三成, 出田, 上江洲各評議員  
列席者 藤原学長補佐, 横山学長補佐, 小川学長補佐, 久保学長補佐, 酒居監事, 福田監事,  
岩阪総務・企画課長, 山下情報管理活用監, 小田原国際課長, 乾研究協力課長,  
西田財務課長, 齊藤施設企画課長, 藤熊学務課長, 木下学生生活課長, 名賀入試課長

議事に先立ち, 前回の記録確認。

### I 審議事項

#### 1. 学長補佐の出席について

学長から, 12月1日付けで学長補佐(地域創生担当)に任命され, やまと共創郷育センター長を併せて務める藤原学長補佐の今後の教育研究評議会への列席について提案があった。審議の結果, これを承認し, 藤原学長補佐が入室し着席した。

#### 2. 学内諸規程等の改正等について

##### (1) 国立大学法人奈良女子大学特定個人情報等取扱規程(案)等について

笠井理事から, 資料1-1により制定の趣旨, 資料1-2により基本方針(案), 資料1-3により規程(案)について説明があり, 審議の結果, 資料1-1については一部文言修正を行うこととした上で, その他については原案のとおり承認し, 役員会へ付議することとした。

なお, 講演者等からのマイナンバー提出方法等について質問があり, 財務課長から, 年内には方針を固め, 年明けには学内周知を行う予定との説明があった。

##### (2) 国立大学法人奈良女子大学保有個人情報管理規程の一部改正(案)について

井上理事から, 資料1-4により説明があり, 審議の結果, これを承認し, 役員会へ付議することとした。

##### (3) 国立大学法人奈良女子大学事務情報システム利用規程(案)等について

井上理事から, 資料1-5及び1-8により事務情報システム利用規程(案)の内容及びその施行に伴う廃止規程(案)について説明があり, 審議の結果, これを承認し, 役員会へ付議することとした。続いて資料1-6及び1-7により非常時行動計画に関する規程(案)及び教育計画に係る規程(案)について説明があり, 審議の結果, 資料1-6については一部文言

修正を行うこととした上で、資料1-7については原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

3. その他  
特になし。

## II 報告事項

### 1. 第47回経営協議会及び第168回役員会について

学長から、11月25日に開催された第47回経営協議会及び11月27日に開催された第168回役員会の審議概要について報告があった。

### 2. 国立大学法人等の中期目標及び中期計画の素案に対する所要の措置について

小路田理事から、資料2-1及び2-2により通知内容の概要及び必要となる対応について説明があった。次に、これらを受けて修正した素案について資料2-3により説明があり、これを各部局で検討し、意見があれば随時総務・企画課担当まで寄せるよう依頼があった。教養教育必修化に関して、取組案の提示がある一方で、学生をどの方向にどう導きたいかが不明瞭である等の意見があった。

### 3. 平成26年度決算検査報告について

笠井理事から、資料3により報告があり、各指摘事項の情報提供とともに、各部局でも情報共有して頂きたいとの発言があった。

### 4. 視覚誘導ブロック整備計画（案）について

笠井理事から、資料4により今年度及び今後実施予定の整備計画案について説明があった。

### 5. 各室からの報告について

倫理・人権委員会：

12月1日に開催された近畿地区国立大学長人権問題懇談会に学長、角田理事、出田倫理・人権委員会委員長が出席したとの報告があった。また、12月8日にハラスメント防止に関する全学研修会を実施し、多数の出席者があったことの報告及び関係者への協力について謝辞があった。

### 6. その他

学長から、以下について発言があった。

- (1) 運営費交付金の削減の見通し及び寄附金の所得税額の特別控除制度の見通しについて情報提供があった。

- (2) 中央教育審議会の教員養成部会作成の「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」(答申案)等からの情報として、教員養成に関する改革の方向性として、教科科目担当教員は教科の指導法についての研究実績が求められる方向となり、教員養成は教員養成系大学に集約されていくのではないかとの発言があり、関係部局で情報収集と注意を行うよう指示があった。また、本学にとって教員免許が取得できることは大学院も含めて重要であることから、平成29年度の事前相談まで時間はあるが、勉強会等を実施するよう指示があった。
- (3) 第5期科学技術基本計画(答申)が出され、平成28年度から5年間の科学技術基本計画がこれに基づき作成されるとの説明があった。主要指標として、若手研究者比率、女性研究者採用比率、論文数、特許の実施許諾件数等の数値目標が明示されており、これら数値は予算が投入される根拠となるため、目を通すよう案内があった。
- (4) なでしこ基金に故人である卒業生の配偶者から高額の寄付を頂いたこと、保護者への広報誌送付の際に基金パンフレットを同封したところ多数の振込を頂いていることについて、報告があった。
- (5) 新年互礼会について、平成28年1月4日(月)16時30分から大学会館2階大集会室で開催予定との案内及び各部局への周知依頼があった。

以上